

Ex 2 急流河川対策コース

(予定定員：日本からの申込み 40 名、海外からの申込み 40 名)

(※雨天時は Ex 1 地震と土砂災害及び歴史的砂防コースも当コースを視察)

1. 視察コースの概要

立山カルデラを中心とした上流域の自然と歴史、砂防事業を紹介する立山カルデラ砂防博物館を見学し、中流域の本宮砂防堰堤、横江頭首工等と下流施設など、常願寺川の急流河川対策を中心に視察します。

2. 視察箇所

(1) 主な視察箇所

- ・ **立山カルデラ砂防博物館**・・・日本で最初の“砂防”を紹介する博物館です。常願寺川の源流部にある侵食作用によって形成された立山カルデラの峻厳な自然と、県土の保全のため行われてきた砂防事業を紹介しています。
- ・ **本宮砂防堰堤**・・・日本一の貯砂量を誇る砂防堰堤です。立山カルデラ内で抑えきれない土砂を捕捉して土砂災害を防ぎ、下流の河床上昇を抑制しています。2017 年国重要文化財に指定されました。
- ・ **横江頭首工**・・・砂防と農業用取水の機能を兼ね備えた頭首工です。富山市、立山町及び舟橋橋村の約 7,900ha の農地に水を供給するための重要な取水施設です。
- ・ **上滝床固**・・・常願寺川扇状地の扇頂部にある治水上の要となる施設です

(2) その他

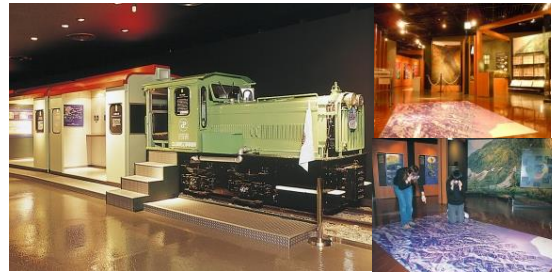
- ・ **称名滝**・・・日本一の落差 350m を誇る 4 段構成の滝を視察します。



本宮砂防堰堤



横江頭首工



立山カルデラ砂防博物館